

経営比較分析表（令和5年度決算）

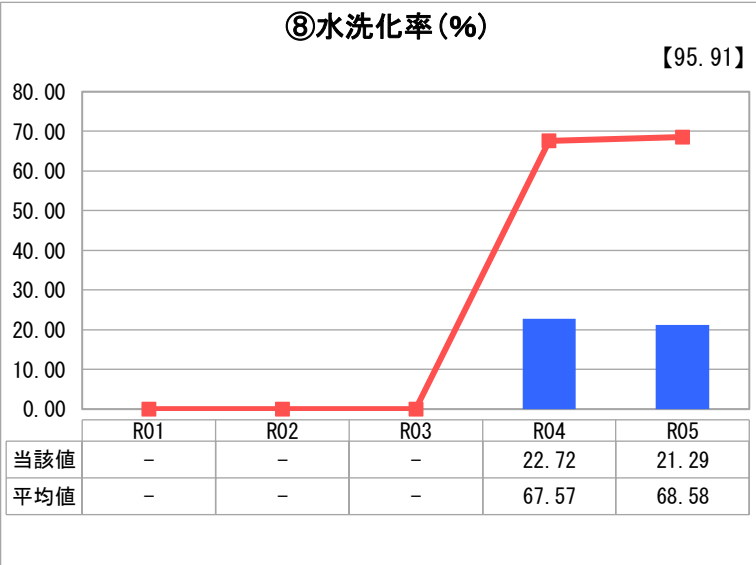
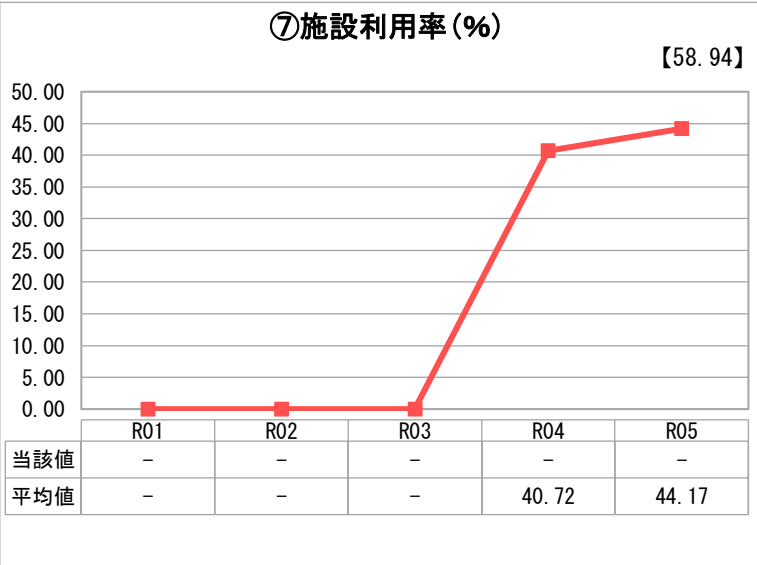
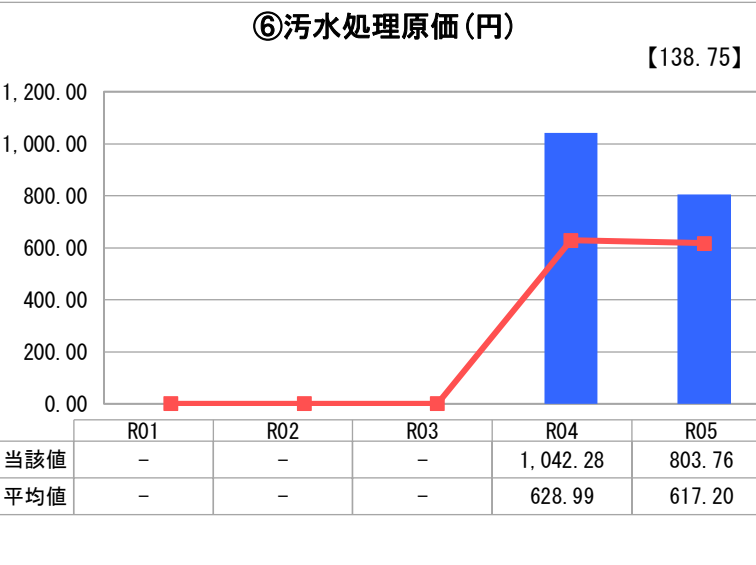
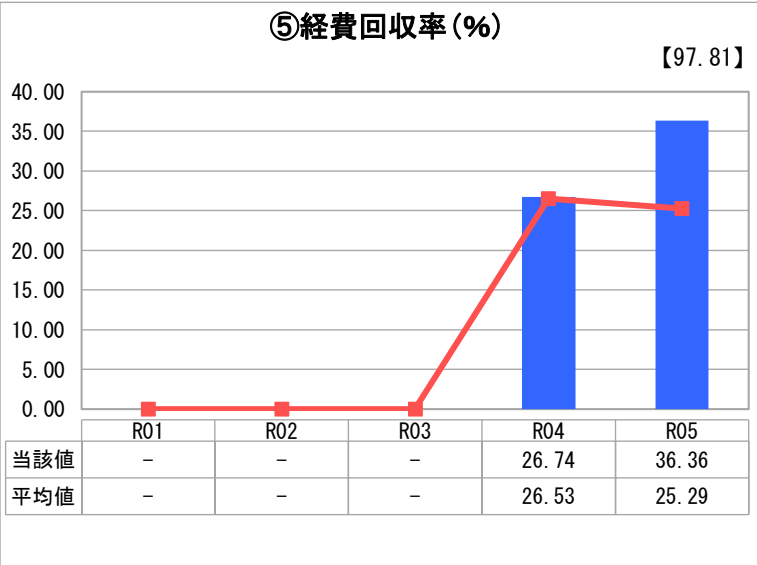
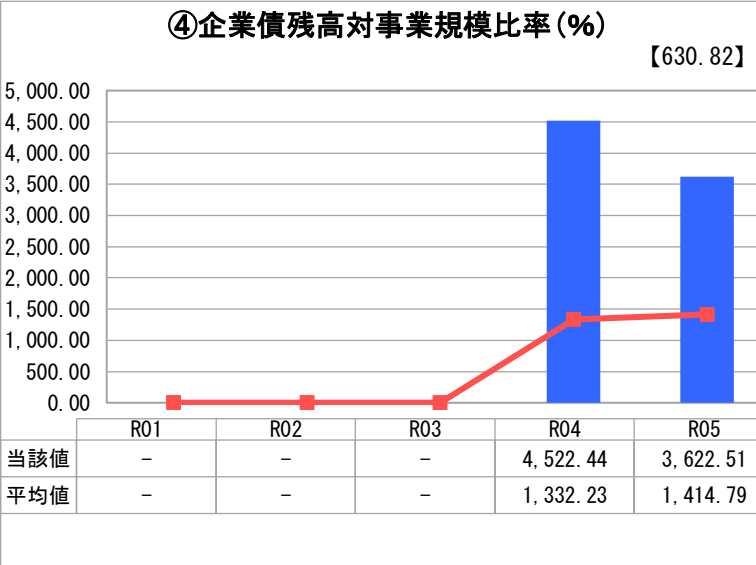
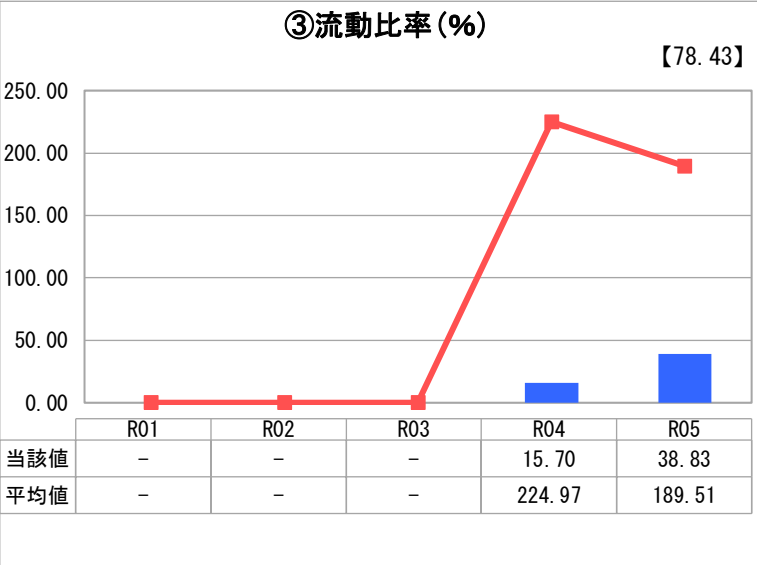
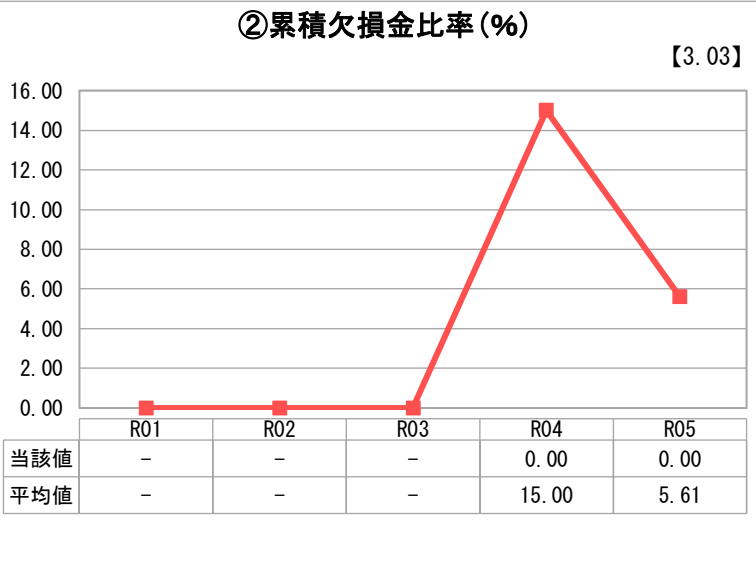
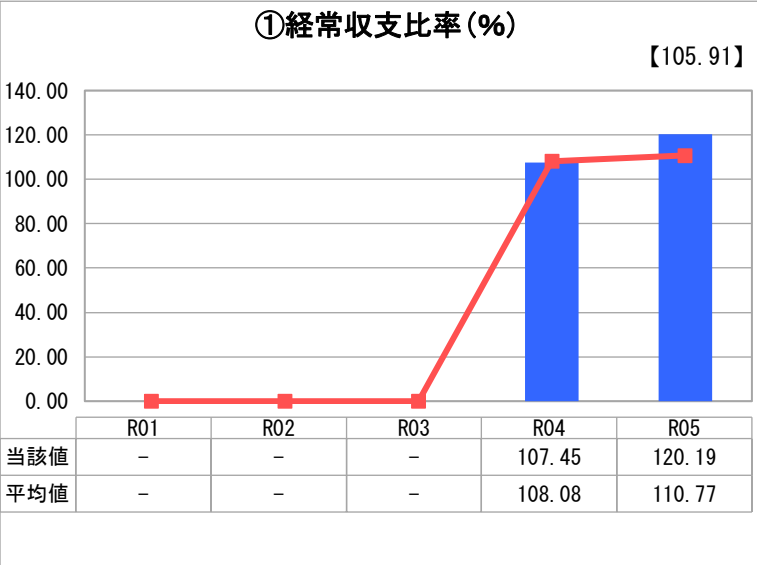
埼玉県 神川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	24.52	3.63	95.00	2,420

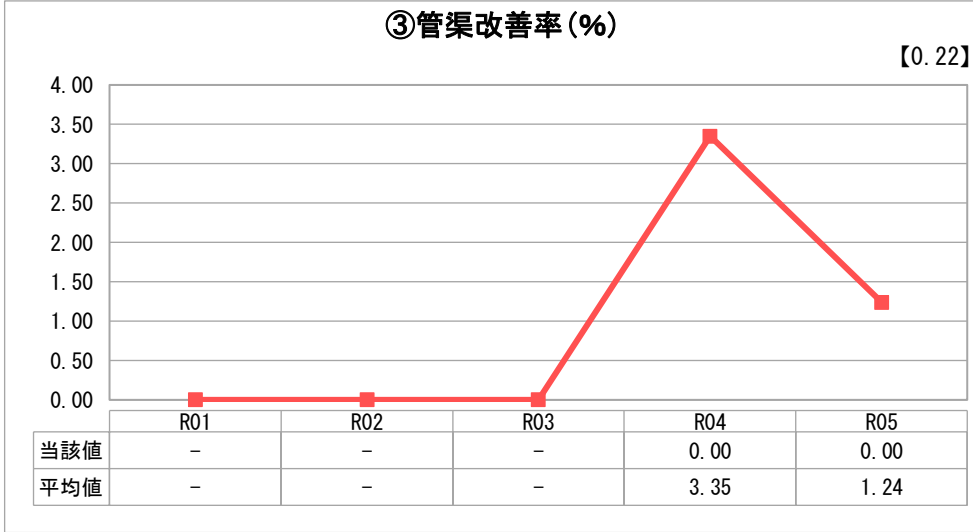
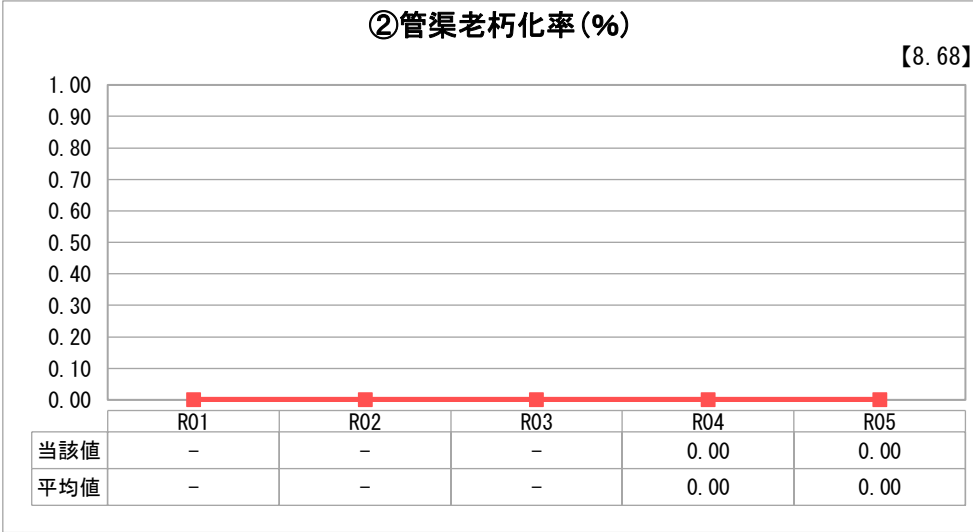
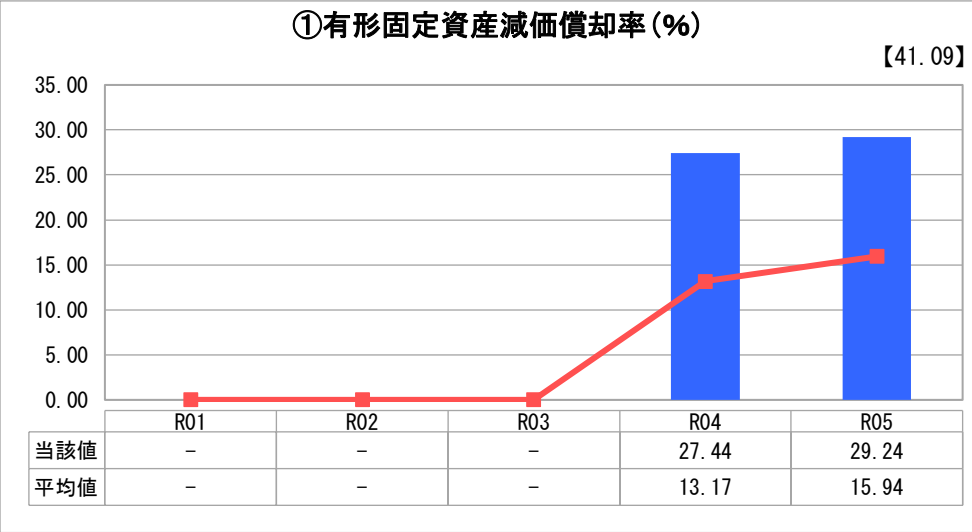
人口（人）	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,888	47.40	271.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
465	0.54	861.11

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」100%を超えているが、収入を他会計補助金に大きく依存しているため、下水道への接続率の向上及び使用料収入の増加に努めていく。

「②累積欠損金比率」累積欠損金は生じていないが、他会計補助金に大きく依存していることによるものである。

「③流動比率」現金預金に対して来年度償還金額が大きいため100%を大きく下回り、類似団体平均値も大きく下回っているが、前年度から数値は改善した。

「④企業債残高対事業規模比較」類似団体平均値を大きく上回っている。企業債の償還が今後も続くため、同様の傾向が継続すると見込まれる。

「⑤経費回収率」収入面で下水道使用料が増加したことと前年度の数値から上昇しており、引き続き収入の増加と経費節減に努めていく。

「⑥汚水処理原価」前年度の数値から改善されたが、類似団体平均値を上回っているので引き続き効率的な汚水処理に努める。

「⑦施設利用率」浄化施設不保持のため数値なし。

「⑧水洗化率」前年度の数値から微減し、類似団体平均値を大きく下回っているため、啓発活動など下水道事業を推進して接続件数の増加に努める。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」類似団体平均値を上回っている。近年下水道本管の布設工事の実績がなく、使用者敷地への接続工事が有形固定資産の取得となるため、帳簿価額がほとんど増えないのが原因である。

「②管渠老朽化率」「③管渠改善率」については、耐用年数を超えていないので数値がない。

全体総括

令和4年度から地方公営企業法を全部適用した。神川町公共下水道事業は供用開始より15年経過したが、下水道への接続件数は頭打ちであり、一般会計補助金が収入の大きな割合を占めている。また、流域下水道として県へ維持管理及び建設負担金を支払うことにより事業が成り立っているため、負担金の額が経営に直結する。安定した事業を実現するため、下水道への接続率の向上及び使用料収入の増加に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。